

陸 軍 指 令

陸 軍 指 令
四月三日附陸技本甲第一四八號申
請ノ通認可ス

陸 軍 指 令
二〇八二號

昭和五年五月拾貳日



別紙添付

陸軍省 第三二八

陸軍省 第四

陸軍省

甲 一四八

兵器採用検査ニ關スル規定中追加改訂致度件申請

昭和五年四月廿三日

陸軍技術本部長 吉田 豊彦

陸軍大臣 宇垣 一成 殿

首題ノ規定中左記各項ノ通追加改訂致度ニ付認可セラレ度

左記

- 一、兵器採用検査ニ關スル規定中改正
- 二、諸機軸表中追加及改正
- 三、銃検査法中追加
- 四、銃用彈藥類検査法改正
- 五、火具類検査法中改正



陸軍

兵器採用検査ニ関スル規定中改正
 一 第五條表中支那欄ノ「大塚」トアルヲ「板橋」ト改正ス
 二 附表第一假陸軍造兵器製造兵器検査項目表ノ
 瓦斯探照燈ノ次項ニ追加

品目		検査項目		検査項目		備考	
十四年式拳銃		竣工		結合検査		検査規則及検査法ノ主要ナル條項	
		完成品検査		試験射撃		第三節(但シ第六、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十六、二十七條ヲ除ク)	
						摘要	

三合番號表(榴彈) (榴霰彈ヲ除ク) 投下爆彈ノ部ヲ次ノ通改正ス

榴彈	彈頭	榴霰彈	塞螺	底螺	下炸藥室	爆藥室	彈帶
榴彈	彈頭	榴霰彈	塞螺	底螺	下炸藥室	爆藥室	彈帶
文字ノ大徑	大口径 八	中口径 六	小口径 四	部品ノ大サニ依	リ要スレハ規	定以下ノ大サ	モノヲ用ウ
番號ノ文字	各製造所毎ニ連番	號(四位トナルトキハ始	メヨリ繰返ス)ヲ用ウ	時宜ニ依リ適當ノ文	字ヲ用ウルコトヲ得		
標示位置	相對部品結合ノ姿	勢ニ於テ兩部品ノ	相對向スル位置ノ	面			

改 造 三 八 式 野 砲									兵器名稱又ハ種類	
架				橋						
同	活	心	駐	節	活	規	駐	準	強	種類 P.ケ 日二
北	塞			制	塞	整	送	板	架	
螺	桿	桿	環	環		筒	管			種類 P.ケ 日二
ケ P							ケ		P.ケ	
二							日二		日二	
外側	桿頭	駐送管	駐環	筒孔底		右脚部	後面中央	後面中央	左側	標示位置
部	部	部	部	部		部	部	部	部	
部	部	部	部	部		部	部	部	部	摘要
部	部	部	部	部		部	部	部	部	
本表以外ノ諸標識ハ三八式野砲ノモトニ同シ										

改造三八式野砲普通標識表

ル

改 造 三 八 式 野 砲											
架					蓋						
規	曳	同	壓	托	壓	壓	強	強	強	節	
整			差		定	塞	架	架	架	制	
螺	桿	乙	環	板	螺	螺	帽	軸	底	孔	
ヶ	ア	ヶ				ヶ ア					
二			四	二	四				二		
軸	螺	螺	螺	螺	螺	螺	螺	螺	螺	螺	
栓	螺	螺	螺	螺	螺	螺	螺	螺	螺	螺	
孔	螺	螺	螺	螺	螺	螺	螺	螺	螺	螺	
外	螺	螺	螺	螺	螺	螺	螺	螺	螺	螺	
面	螺	螺	螺	螺	螺	螺	螺	螺	螺	螺	

改 造 三 八 式 野 砲										
架					橋					
軸 栓 甲	同 北 螺	起 動 齒 輪	傳 動 齒 輪	被 板	起 動 齒 輪 壁	駐 筒	同 北 螺	傳 動 軸	同 北 板	極 釘
ヶ										
二				四	二					
頭部 平面	六角部 平面	同	齒部 缺切 斜面	下 方 外 面	起 動 齒 輪 孔 上 外 面	把 持 部 中 央	六 角 部 平 面	桿 中 央	文 字 下 方 中 央	上 方 軸 栓 孔 後 方

既 野 式 八 三 進 改										
架					搖					
被坐測尺	誘導螺副筒	轉輪	表尺坐筒	表尺架	同乙	變換齒輪甲	頑桿	頑桿頭	同丙	軸栓乙
ヶ		ヶ 尸					ヶ			
二		二 田	田	一						
圓筒上部螺上端	圓筒部中央	外側凹底面	上面後方坐筒螺絲左側面	上面後方坐筒螺絲左側面	前面凹部	齒輪軸孔/外側	軸栓孔/下方外面	同	頭部平面	

氏 野 式 八 三 造 改 大										
被	準	照	代	高	架					大
蓋	照準螺輪蓋板	大齒輪室蓋	螺桿比螺	照準坐軸管	發射坐軸管	下方托坐	上方托坐	離	握把	備心櫃
根	公甲						公甲	秤	軸	軸
ヶ										
二 回		二								
外側面中央	照準螺輪室/外側	齒輪孔/前方平面	大後部後端	同	後方部中央	同	照準室/外側中央	下	同	上
							面			面

成 造 三 八 式 野 形									
機蓋		準内		原		低		高	
齒輪被	板	照準螺軸	螺	筒	原照準軸右方量	副架	起動軸	外方齒輪	高部齒輪軸
ヶ		ヶ尸	ヶ		尸ヶ	ヶ		ヶ尸	
回		二	回	二	回			二	回
上方座孔下方	平面中央	帶齒輪軸孔上部蓋	框軸孔/外周	圓筒部/外周	圓筒部外周上面	筒孔上方板部中央	起動部外周面	頸部	齒部/裏面
									起動部筒室外面

砲 野 式 八 三 造 改									
機		準		照		伺		方	
不	誘導	滑	滑	積導	起動	起動	起動	起動	傳動
針	螺	輪	輪	剎	螺	螺	螺	螺	螺
ヶ	下ヶ	ヶ	ヶ	ヶ	ヶ	ヶ	ヶ	ヶ	下ヶ
二	四	二	二	四	二	二	二	二	二
後方	上	錫部	圓筒	錫部	錫部	大	圓筒	注油	兩端
下面	面	甲	端面	外周	外周	接	部	孔	孔
		尖				面	甲	外周	甲
							尖		側

改 造 三 八 式 野 砲										
防 欄	機			動			制		射 撃 機 構	
防 欄	左 方 外 側	中 央 外 側	同 坐 管	原 形 左 方 外 側	同 下 方 外 側	同 下 方 外 側	原 形 左 方 外 側	制 射 撃 機 構	高 輪 座	目 盛 板
ヶ							下 ヶ	ヶ		
四	二						四	二		
右 方 外 側 坐 管 面	軸 座 外 周	同	圓 筒 部 中 央	機 面 中 央	機 面 中 央 下 面	上 面 軸 孔 左 側 方	機 面 右 側 外 側 方	上 面	右 方 目 盛 板 外 側	

1070

武進三ノ八式野死		
品	看心御珠人翁別簡	
甲	延喜神代卷人翁	看心御珠人翁別簡
ケ		
四	二	
甲	延喜神代卷人翁	大徳御珠人翁別簡
次		

（特種標識表）次ノ如ク追加ス

<p>棉火藥精製作基 下カヨ信多無標藥</p>	<p>名稱 區分</p>	<p>標識 中ニ徑ニ純大ナ一純圓内ニ 一ノ字ヲ記シ赤色記號ヲ押仰ス</p>	<p>標識 要旨</p>	<p>大正五、三</p>	<p>年 月</p>	<p>兵務局 兵第一二號</p>	<p>官制養院</p>
-----------------------------	--------------	---	--------------	--------------	------------	----------------------	-------------

銃検査法中改正及追加

一 三八式歩兵銃(新)銃八頁第三條中次、如ク改ム

二 標的寸法

當分内射撃臺取附及机上依托射撃

共左ノ寸法ヲ用ウ

三八式歩兵銃

縱〇米六三、幅〇米五五ノ橢圓的

黒點ノ中徑ハ〇米三〇ニシテ其ノ下際ヲ橢圓ノ中央ニ置ク
三八式騎銃

縱〇米七一、幅〇米六三ノ橢圓的

黒點ノ中徑ハ〇米三〇ニシテ其ノ下際ヲ橢圓ノ中央ニ置ク
二 照準點 黒點ノ下際

四 射擊法

射擊臺取用又本館上依托(標尺全下飾備)

五 發射彈數 各銃五發

二 第八章 次ノ如ク追加ス

第八章 十四年式拳銃

1075

十四年式拳銃検査法

第八章 十四年式拳銃

第一節 素材検査

第二節 部品検査

第三節 竣工検査

第一款 結合検査

第二款 試験射撃

其一 機能射撃試験

其二 命中射撃試験

第三款 完成品検査

第一節 素材検査

第一條 銃身、銃床、圓筒、筒子等ノ地金ハ所要ノ鋼貨ヲ行ヒタルモノニ對シ通常一口毎ニ抽出シテ硬度試験ヲ行ヒ要スレハ破面ノ景況ヲ檢シ鋼貨ノ適否ヲ檢ス但シ銃身地金ニ在リテハ必要ニ應シ抗張試験ヲ行フモノトス

第二條 彈倉發條、擊莖發條及復坐發條並其ノ他ノ發條地金ハ一口毎ニ試験片ヲ採取シ規定ノ形狀ヲ付與シタルモノニ付抗力ヲ檢シ參考ニ供ス

第二節 部品検査

第三條 部品検査ハ以下各條ニ示ス外附表第七検査項目表ニ依リ其ノ寸法、形狀、瑕疵ノ有無、仕上程度

検査等ヲ検査スルモノトス

第四條 銃身ハ特ニ腔中、薬室ノ寸法正確、仕上良好ニ

シテ掻痕、瑕疵等ヲ存セス又屈曲及著シキ偏肉ナキヲ

要ス

薬室後端實包滑走部ノ削肉ハ最小限度ニ止ムルモノ

トス

第五條 照星ハ特ニ各部ノ寸法、形状正確ニシテ打痕、瑕

疵等ヲ存セサルコトヲ要ス

第六條 銃床内部ノ寸法、形状ハ主トシテ検査具ヲ用キ

テ検査シ尚左ノ各部品ハ次ノ要領ニ依リ検査スルモノ

トス

一 門子受部ノ仕上ハ特ニ良好ニシテ硬度ハ殆ント鑢削
 シ得サル程度ナルヲ要ス

二 照門ノ位置、形状、寸法正シク其ノ高サハ銃身軸ヲ基
 準トシ所定ノ範圍ニ在ルヲ要ス

三 逆鉤ハ屈曲ナク兩端鉤部ノ硬度ハ殆ント鑢削シ得
 サル程度ナルヲ要ス

四 安全栓ハ屈曲ナク銃床ニ適合スルヲ要ス

五 用心鐵ノ駐梁部ハ銃床ニ適合シ且銃身ノ前進ヲ制
 限スル鉤部ハ銃身ニ適合スルヲ要ス

六 彈倉止鉤部並引鐵鉤板頭部ハ殆ント鑢削シ得サル
 程度ナルヲ要ス

七懸紐止ハ、緩著ハ確實ナルヲ要ス

第七條 圓筒ハ仕上良好ニシテ、屈曲、瑕疵等ナク、又擊蓋室
及擊針孔ハ軸心線ニ對シ、其ノ位置正確ニシテ、門子鉤部
ノ硬度ハ殆ント鏽削シ得サル程度ナルヲ要ス

第八條 擊蓋ハ寸法正確、尖部ノ形狀良好ニシテ、屈曲ナク
其ノ硬度ハ殆ント鏽削シ得サル程度ナルヲ要ス

第九條 結合子ハ各部ノ寸法正確ニシテ、ねぢ部ノ仕上ハ
特ニ良好ナルヲ要ス

第十條 抽筒子ハ熱處理適當ニシテ、變歪、瑕疵ナキヲ要
ス

第十一條 門子ハ各部ノ寸法正確、熱處理良好ニシテ、瑕疵ナ
ク

ク其ノ鉤部ノ硬度ハ殆ント鑄削シ得サル程度ナルヲ要ス

第十三條 彈倉ノ各部ハ較「ニツケル」作業前之ヲ検査シ該作業後變歪等ナキヲ要ス

彈倉體ハ特ニ其ノ内面平滑ニシテ實包ノ上昇ヲ妨シル虞アル瑕疵變歪等ナク又彈倉口部ノ形狀ハ良ノ検査具ニ一致スルヲ要ス

完成彈倉ハ受筒板及彈倉底トノ結合良好ニシテ外部ノ寸法、形狀ハ検査具ニ適合シ又彈倉止鉤部受部ノ硬度ハ適度ナルヲ要ス

第十四條 床把ハ木質、纖維ノ狀態良好ニシテ疾患又ハ割裂ナキヲ要ス

第十條 彈倉發條、復坐發條、擊莖發條ハ約一週間全壓縮ノ後所定ノ範圍ニ在ルヲ要ス其ノ他ノ發條ニ在リテモ右ニ準シ所要ノ期間全壓縮ヲ行ヒ抵抗力及變形ノ有無ヲ檢スルモノトス

以上ノ外射擊後重錘ヲ以テ壓縮シ左ノ條件ニ合スルヲ標準トス

名	稱	定	寸	精	重	壓縮後ノ高	公差	負差
彈倉發條		一七〇		一二五	〇・六	一五		一五
閉子發條		二五						
復坐發條		一一〇						

擊發條	七四	五四	一〇〇〇	〇	〇	〇	〇
-----	----	----	------	---	---	---	---

備考 門子發條及復坐發條ノ抵抗力検査法ニ付テハ追テ定

第三節 竣工検査

第一款 結合検査

第十五條 前各節ノ検査ヲ終リタル後各部品ヲ結合シ重

要ナル各部分ノ拭淨及塗油ヲ行ヒタル後以下各條ノ検査

ヲ行フモノトス

第十六條 銃身、銃床、圓筒及擊莖ノ軸心ハ一致ナルヲ要ス

第十七條 銃身ト銃床、銃床ト用心鐵、銃身ト圓筒、圓筒ト擊莖

擊莖發條止ト結合ニ及ビ及ビ擊莖、銃床ト彈倉トノ各嵌合狀

第八條 圓滑ニシテ軋リナク而モ甚ク動搖セサルヲ要ス
 第十九條 照星ト照門トヲ連スル直線ハ銃身軸ニ並行シアルヲ要ス

第十九條 照星及照子ノ脚部ハ銃身ニ緊密ニ適合シ照子ハ目打止確實ニシテ頭部ハ圓筒ノ通路面ニ殆ント密接シ其ノ側面ニ於テ摩擦ナク進退スル如ク組立アルヲ要ス

第二十條 照子ハ銃身ノ照子室ニ圓滑ニ吻合シ又其ノ鈎部ハ圓筒ノ照子鈎部ニ密接シ且平等ニ深ク鈎シ。捲起條ノ藥室檢査具ヲ裝スルトキ銃身完全ニ復坐シ。二捲起條ノ藥室檢査具ヲ裝スルトキ復坐セサルヲ要ス

第二十一條 圓筒ト結合子トノ螺合ハ圓滑確實ニシテ又十分之

ヲ螺着シタルトキ擊莖鉤部ノ通路ハ兩者一致シアルヲ要ス尚結
合子ハ銃床後端ニ觸ルルコトナク平削部ハ概ネ水平ノ位置
ニ在ルヲ要ス

第二十一條 道底ハ結合状態ニ於テ擊莖發條止ノ桃形鉤部ハ
結合子ニ又角形鉤部ハ圓筒ニ嵌合スルヲ要スルモ少許ノ
動搖ハ差支ナシ

第二十二條 抽筒子ハ其ノ脚部ヲ以テ圓筒ニ緊密ニ適合シ脚
部以外ノ側面ニ於テハ摩擦ナク頭部ト銃身後端トノ間ニ
ハ適當ノ空隙アルヲ要ス

第二十三條 擊針ノ突出量ハ一粒乃至一五粒ナルヲ要ス

第二十五條 逆鉤ハ銃床ニ正シク吻合シ軌リナキヲ要ス又逆鉤發

條ハ其ノ室ニ確實ニ位置シ離脱セサルヲ要ス

第三十條 彈倉ノ機能ハ左記各點ノ條件ヲ具備スルヲ要ス

一 受筒板ヲ上下ニ動カストキ彈倉内部ニ軋リナク又彈倉發條ノ彈撥力ハ適當ナルヲ要ス

二 彈倉内ニ模擬彈ハ發ヲ確實ニ裝填シ得且最上實包ヲ後方ヨリ指壓ニ依リ推進スルトキ正シク進出シ又實包ノ扛上作業用圓滑確實ナルヲ要ス

第三十七條 彈倉止ノ機能ハ左記各點ノ條件ヲ具備スルヲ要ス

一 彈倉止發條ノ機能良好ニシテ其ノ室ノ周圍ニ軋ルコトナキヲ要ス

二用心鏡若ハ彈倉ノ裝脱ニ際シ其ノ作用圓滑確實ナルヲ要ス
三用心鏡ハ彈倉離脱後ニアラサレハ離脱セラレサルヲ要ス

第三十八條 其ノ他床把ノ結合、抽筒子、銃子及各部駐栓ノ裝着確實ナルヲ要ス

第三十九條 射撃機能ハ左記要領ニ依リ要スレハ分解シテ検査スルモノトス

- 一 彈倉ヲ裝セスシテ遊底ヲ十分後退シ靜カニ之ヲ首進セシムルトキ遊底ハ圓滑ニ前進シテ閉鎖シ得ルヲ要ス
- 二 遊底ノ進退ニ伴フ閥子ノ運動ハ圓滑ナルヲ要ス
- 三 遊底ヲ後方ニ引クトキ銃身ニ五粒以上後退セサルニ先ケ閥子ノ閉鎖ヲ解クコトナキヲ要ス

四 彈倉ヲ裝セスシテ引鐵ヲ引キタル後遊底ヲ後退スルトキ引鐵鈎板頭部ハ銃身鈎部ニ確實ニ鈎シ逆鈎トノ鈎ヲ解キ逆鈎ヲ落位ニ復センメ又活潑ニ遊底ヲ放ツトキ遊底ハ完全ニ閉鎖シ且閉鎖ト同時ニ擊發スルコトナク一旦引鐵ヲ靜カニ放テズニ之ヲ引クトキ擊發シ得ルヲ要ス

遊底完全ニ閉鎖シテアラスルトキ引鐵ヲ引クモ擊發セサルヲ要ス

五 引鐵ハ適當ナル強サヲ有シ引鐵鈎板及逆鈎ノ機能確實ニシテ且軋リ等ナキヲ要ス

六 安全栓ヲ「安」又ハ「火」ノ位置ニ置キタルトキ其ノ機能確實ナルヲ要ス

第二款 試験射撃*

其ノ一 機能射撃試験

第三十條 機能射撃試験ハ左ノ各點ニ依リ之ヲ行フモノトス

一 實用實包 十四年式拳銃實包

二 各彈倉ハ八發ヲ裝填シ連續故障ナク射撃シ得ルヲ要ス

又必要ニ應シ彈數ヲ増加シ射撃ヲ復行シ機能ヲ確認ス

第三十一條 射撃間ハ特ニ左ノ機能ニ故障ナキヲ要ス

一 遊底ヲ十分後退シ活潑ニ之ヲ放ツトキ輕快ニ前進シ實包

ヲ兼室ニ裝填シ完全ニ閉鎖スルヲ要ス

此ノ際第三十九條第四號ノ方法ニ依リ擊發機能ヲ檢ス

二 毎發遊底ノ運動、裝填及發射確實ニシテ彈倉内ノ實包

ヲ射盡シタルトキ圓筒ハ受筒板ニ射テ停止スルヲ要ス
 三彈倉ハ裝脱圓滑且彈倉止ノ機能良好ニシテ實包ノ上昇
 確實ナルヲ要ス

四蹴子、抽筒子ノ機能良好ニシテ空薬莖ノ蹴出方向ハ概ネ
 整正ナルヲ要ス

五打散薬莖ハニハ雷管突破、偏撃及薬莖ノ膨脹其ノ他ノ
 異状ナキヲ要ス

第三十三條 射撃間故障ヲ生シタルトキハ射撃ヲ中止シ要スレ
 ハ部品ヲ交換シ又ハ修正ノ後射撃ヲ行フ但シ輕微ノモノハ
 射撃後修正ヲ行フコトヲ得

第三十三條 機能射撃試験後各部ヲ分解シ反起、乾リ跡及

其ノ他異狀ノ有無ヲ點檢スルモノトス特ニ門子及門子受部
引鐵各部擊莖逆鉤發條及同軸ノ位置ニ注意シ蹴子及
抽筒子脚部ニ緩ミヲ生シアラサルヲ要ス

其ノ三 命中射擊試驗

第三四條 機能射擊試驗合格銃ニ付左ノ各點ニ依リ命中射
擊試驗ヲ行フ

一 使用實包 十四年式拳銃實包

二 射距離五〇米

三 標的 縱〇米四三 幅〇米三五ノ橢圓圖

黑點ノ徑〇米〇五 其ノ下際ヲ橢圓圖ノ中央ニ置ク

四 照準點 黑點ノ下際 *

五發勢 依托

六發射彈數 五發

第三十五條 射彈五發全部楕圓圈内ニ命中シタルモノヲ以テ合格トス但シ楕ハシキモノアルトキハ尚若干發増射スルコトヲ得

第三十六條 彈着一方ニ偏スルモノハ照屋ノ最大移動量左右各○・三糎、照屋高公差正○・五糎、負○・三糎以内ニ於テ移動修正又ハ改装ノ上再射スルコトヲ得

第三款 完成品検査

第三十七條 命中射撃試験合格銃ニ付左記各牌ノ検査ヲ行ヒ要スレバ他ノ部品等ニ付検査スルモノトス
一各部ノ拭淨塗油ハ完全ナルヲ要ス

二各部ノ介解結合ハ圓滑ニシテ射撃ニ依ル故障ナキヲ要ス
射撃機能ハ第二十九條ノ要領ニ準シ検査スルモノトス

三腔中ハ腔中小極模範(中徑七・九九糎)全通シ腔中大極
模範(中徑八・〇四糎)ハ銃口及銃尾ヨリ全ク進入セサルヲ要
ス

四腔銃底ノ徑ハ銃底小極模範(中徑八・二五糎)全通シ銃
底大極模範(中徑八・三一糎)ハ銃口及銃尾ヨリ全ク進入セ
サルヲ要ス

五藥室ハ小極検査具ヲ收容シ大極検査具ヲ收容セサルヲ
要ス尚要スレハ相當部検査具ヲ以テ藥室各部ノ寸法ヲ檢
査ス

六。起線ノ藥室検査具ヲ裝スルトキ銃身完全ニ復坐シ一
ニ捲起線ノ藥室検査具ヲ裝スルトキ復坐セサルヲ要ス
七。撃針ノ圓筒包底面ヨリ突出スル長サハ一捲乃至一・五捲
ナルヲ要ス

八。抽筒子爪部ハ藥室後端ニ觸ルルコトナク又爪部ト圓筒
包底面トノ距離ハ一・二捲乃至一・四捲ナルヲ要ス

九。腔中及藥室ニ發錆及疵痕ナキヲ要ス

十。門子鉤部、門子受部、引鐵鉤板頭部、逆鉤頭、擊筭頭部

及彈倉止ノ鉤部並彈倉ノ相當部ノ硬度ハ適當ナルヲ要

ス

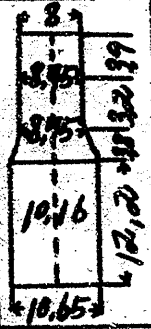
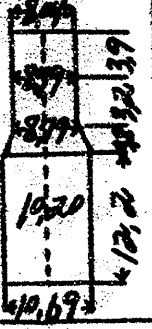
十一。諸標識ノ打刻適當ニシテ特ニ合番號ハ混淆シアラサルヲ要

又

十三一般着色及仕上ハ良好ニシテ發錆又ハ疵痕等ナキヲ要ス

(其1-)

十四年式拳銃検査項目表

部	品名	規格	定寸	公差		大極	小極	摘	要
				正	負				
銃	口径	隔端	8,00	0,04	0	8,04	8,00		
		銃底	8,26	0,05	0	8,31	8,26		
		室徑		0,04	0		定寸 = 同		
		圓筒室徑	18,00	0,045	0	18,045	18,00		
身	銃床滑合部外徑		22,00	/	0,03 0,10	21,97	21,90		
	準	梁内幅	17,00	/	0,06 0,20	16,94	16,80		

1096

鏡 身	準 梁	外 幅	22,00	/	0,02 0,07	21,98	21,93
		厚 寸	3,00	/	0,03 0,06	2,97	2,94
		外端端面列 溝幅寸/厚寸	94,00	0,05	94,00 94,05	93,95 93,95	93,95
	全 長	203,00	0,25	0	203,25	203,00	
	圓筒部長	103,00	0,20	0	103,20	103,00	
	兼重後端面列門子軸 心-至心距離	58,00	0,03	0	58,03	58,00	
	鏡身軸及門子軸間 距離	15,00	0,02	0,02	15,02	14,98	
	門 子 駐 梁	外 幅	13,00	/	0,05 0,1	12,95	12,90
		内 幅	7,00	0,1	0	7,10	7,00
		軸孔徑	8,00	0,03	0	8,03	8,00
後部圓半徑		17,50	/	0,02 0,1	17,48	17,40	

1097

(共12)

部	品名	寸法	公差		大極	小極	摘	要
			正	負				
鏡身	門子	13,50	0,1 0,2	/	13,70	13,60		
	頭部室 門子軸心 シリノ	20,00	0	0,2	20,00	19,80		
照	星ノ高サ	7,00	0,5	0,3	7,5	6,7		
門子	圓筒鉤部長	20,00	0	0,03	20,00	19,97		
	鏡床滑部長	20,00	0,10	0	20,10	20,00		
	鏡身結合部圓筒	17,50	0,05 0,10	/	17,60	17,55		
	圓筒鉤部高	6,00	0,02	0,05	6,02	5,95		
	後部全高	16,50	0	0,10	16,50	16,40		
	幹部高	8,50	0	0,10	8,50	8,40		
	軸	徑	8,00	/	0,05 0,02	7,98	7,95	

1098

同子 銃	銃	身	室	部	幅	7,00	/	0,05 0,15	6,95	6,85					
				銃	門部	高	寸	15,50	0,1	0,01	15,6	15,49			
					銃	銃	徑	22,00	0,05	0	22,05	22,00			
				準	梁	室	銃	長	寸	108,00	0,20	0	108,20	108,00	
							銃	梁	幅	17,00	0,35 0,10	/	17,35	17,10	
				部	銃	室	銃	梁	幅	22,00	0,045	0	22,045	22,00	
								銃	高	寸	3,00	0,05	0	3,05	3,00
				部	銃	室	銃	銃	銃	徑	18,00	0,20 0,40	/	18,40	18,20
								銃	銃	幅	3,00	0,10 0,30	/	3,30	3,10
				部	銃	室	銃	銃	銃	幅	2,00	0,10	0	2,10	2,00
銃	銃	銃	幅					21,50	0,05	0	21,55	21,50			

1099

1111

(其/三)

部	品名	規格	定寸	公差		大極	小極	摘要		
				正	差					
銃	銃身室部	筒	98,00	/	0,10 0,20	97,90	97,80			
		子室	112°					定寸検査具=適合 スレヲ要ス		
	銃底	半径	9,00	0,20	0	9,20	9,00			
			幅	18,00	0,20	0	18,20	18,00		
		倉室	深	11,00	0,20	0	11,20	11,00		
			用心	上幅	7,00	0,10	0	7,10	7,00	
				深	2,00	0	0,10	2,00	1,90	
		銃室	下幅	10,00	0,10	0	10,10	10,00		
			深	2,00	0,05	0	2,05	2,00		
	床部	銃室	7,00	0,03	0,03	7,03	6,97			

1100

銃	把	止	下端部 ノミ	105,70	0	0,20	105,70	105,50	突寸検査具=通 合スルヲ要ス	
		倉室	程	9,00	0,03	0	9,03	9,00		
		床把	程	4,00						
		彈	後部幅	12,60	0,10	0	12,70	12,60		
			徑	15,50	0,20	0	15,70	15,50		
		倉	前部幅	12,00	0,10	0	12,10	12,00		
			指掛 幅	8,00	0,50	0	8,50	8,00		
			周上原 (中1034)	9,00	0,20	0	9,20	9,00		
			周上	上	11,50			11,70		11,50
				下	12,00	0,20	0	12,20		12,00
全幅	31,00	0,20	0	31,20	31,00					
床部	室	前方面 (中1034)	17,50	0,05	0,05	17,55	17,45			

1101

(其四)

部	品名	規格	実寸 ^概	公差		大極 ^概	小極 ^概	備	要
				正	負				
用心鐵蟻部	上	幅	10,00	/	0,05 0,15	9,95	9,85		
	下	幅	7,00	0	0,10	7,00	6,90		
	溝	深	2,00	0,05	0	2,05	2,00		
	茶	厚	2,00	0	0,10	2,00	1,90		
引鐵	形	狀							実寸検査具=適合スルヲ要ス
引鐵板	引鐵接合部	厚寸	4,00	/	0,05 0,15	3,97	3,85		
彈倉止		徑	9,00	/	0,20 0,03	8,97	8,80		
	用通	右側リ 距離	9,50	0	0,10	9,50	9,40		
	用心鐵	幅	10,50	0,10	0,10	10,60	10,40		
	彈倉通	圓半径	6,10						実寸検査具=適合スルヲ要ス

1102

彈倉止	彈通	鉤部長	(7.77)	0.05	0.05	7.82	7.72
		幅	(13.45)	0.10	0	13.55	13.45
		深	4.00	0.10	0	4.10	4.00
送	軸心位置	前端ヨリ長さ	51.00	0.10	0.10	51.10	50.90
		後端ヨリ長さ	47.00	0.15	0	47.15	47.00
鉤	厚		2.00	0	0.08	2.00	1.92
安全栓	軸部	長さ	27.00	0	0.15	27.00	26.85
		径	4.50	0	0.08	4.50	4.42
	駐筭	高さ	(1.10)	0.10	0.10	1.20	1.00
		軸ト距離	19.00	0.10	0.10	19.10	18.90
底座	ねじ部ノ径	4.00					定寸検査具ニ適合スルヲ要ス

1103

(其五)

部	品名	規格	公差		大極	小極	備	要				
			正	負								
筒	葦莖	1 徑	6,00	0,05	0	6,05	6,00					
	葦莖	尖部	1 徑	1,50	0,05 0,15	/	1,65	1,55				
	葦莖	銜部	1 溝幅	3,00	0,10	0	3,10	3,00				
	滑夫	部	1 徑	18,00	/	0,02 0,07	17,98	17,93				
	中心	列下方	平面部	の	1 距離	7,00	0	0,10	7,00	6,90		
	中心	列上方	平面部	の	1 距離	6,50	0	0,10	6,50	6,40		
	板	方	部	1 徑	14,00					定寸検査具=通 合不入の要ス		
	包	底	室	徑	11,00	0,10	0	11,10	11,00			
	隙	子	通	路	幅	4,00	0,25 0,10	/	4,25	4,10		
	全	長		107,50	0,20	0	107,70	107,50				
***	筒	子	銜	部	溝	深	2,00	0,10	0	2,10	2,00	

1104

筒	筒の円子抽部の口部		78,00	0	0,03	78,00	77,97
	ねが部 1長		10,00	/	0,05 0,10	9,95	9,90
	抽筒子蟻壁 上幅		6,00	0,01	0	6,01	6,00
	同 上底幅		4,00	0,012	0	4,012	4,00
	抽筒子壁 1幅		6,00	0,20 0,10	/	6,20	6,10
抽筒	蟻部	長	8,00	0,10	0	8,10	8,00
		厚	3,50	0	0,08	3,50	3,42
		底幅	6,00	0	0,03	6,00	5,97
		上幅	4,00	0	0,03	4,00	3,97
子葉	爪部	2,90	0,05	0	2,95	2,90	
	ねが部 (口元蟻部)	10,00	0,10	0	10,10	10,00	

1105

(其六)

部	品名	規格	定寸	公差		大極	小極	摘要
				正	差			
拳	板方部	徑	14.00					定寸検査具 = 適合スルヲ要ス
莖	莖莖 / 全長		87.00	0.20	0	87.20	87.00	
	外 徑部	火部 / 徑	1.50	0	0.05	1.50	1.45	
		頭部 / 徑	6.00	/	0.02 0.07	5.98	5.93	
	發條室	徑	4.00	0.08	0	4.08	4.00	
		深さ	60.00	0	0.20	60.00	59.80	
莖	火部	長	6.00	0.25	0	6.25	6.00	
莖莖發條止	中部 / 徑		4.00	/	0.02 0.10	3.98	3.90	
	駐茶部 / 徑		6.00	0	0.08	6.00	5.92	
	駐茶部 / 幅		3.00	0	0.08	3.00	2.92	
莖莖	發條止部	下部 311 / 距離	105.70	0.20	0	105.90	105.70	

1106

彈	彈底接部	方側面ヨリノ厚さ	2,00	0,18	0	2,18	2,00	
		前部ヨリノ厚さ	4,00	0,15 0,30	/	4,30	4,15	
		外部形状						実寸検査具=適合ス ルヲ要ス
		前部内幅	10,00					
		後部内幅	10,60					
		中央部内幅	13,50					
		前後幅	29,00					
		彈底接部位置						
受筒板		長(軸心線ヨリ前)	8,50	0	0,10	8,50	8,40	
		同(軸心線ヨリ後)	20,50	/	0,05 0,15	20,45	20,35	
		斜面長	18,50	0,15	0,15	18,65	18,35	

1107

(其、七)

覆背板	外 幅		10,00	/	0,03 0,10	9,97	9,90	
	上 面 形 状							定寸検査具=適合スルヲ要ス
彈倉底	弾倉位置	弾倉幅 リノ距離	0,50					定寸検査具=適合スルヲ要ス
		弾倉下幅 リノ距離	2,00					
各種 發條	門子發條	全 長	31,00	1,00	2,00	32,00	29,00	
	擊蓋發條	全 長	74,00	2,00	6,00	76,00	68,00	
	復坐發條	全 長	110,00	4,00	5,00	114,00	105,00	
	彈倉發條	全 長	160,00	7,50	7,50	167,50	152,50	

1108

銃用彈藥類検査法

兵器採用検査ニ關スル規定別冊第五編

昭和五年三月
陸軍技術本部印刷

第五編 銃用彈藥類検査法

目次

第一章 通則

第二章 三八式銃彈藥（三年式、三八式及高射機關銃彈藥ヲ含ム）

第一節 實包（被鋼實包ヲ含ム）

第一款 素材検査

第二款 部品検査

第三款 竣工検査

其ノ一 組合検査

其ノ二 完成品検査

第四款 收函及收箱檢查

第三節 空包及發射擊實包

第一款 素材檢查

第二款 部品檢查

第三款 竣工檢查

第四款 收函及收箱檢查

第三章 拳銃彈藥

第一節 素材檢查

第二節 部品檢查

第三節 竣工檢查

第四節 收函及收箱檢查

附表第一

三八式無煙藥實包検査項目表

附表第二

三八式無煙藥神彈子、保彈枝検査項目表

附表第三

三八式無煙藥三八式及高射機關無煙包検査項目表

附表第四

三八式無煙藥空射擊實包検査項目表

附表第五

二十六年式無煙藥實包検査項目表

附表第六

十四年式無煙藥實包検査項目表

第五編 銃用彈藥類検査法

第一章 通則

第一條 銃用彈藥類ノ検査ハ特ニ定ムルモノノ外第二章

以下各條ニ記載セル項目ニ對シ其ノ完成品ニ付検査
提供品ヨリ試料ヲ抽出シテ之ヲ行フモノトス

第二條 検査ノ結果爾他ノ諸件良好ナルモ一部規定
ニ合セサルモノアルトキハ提供品ノ全部ニ付其ノ不良
ナル項目ニ對シ選別ヲ要求シ更ニ不良項目ノミ補足
検査ヲ行フモノトス

第三條 前條ノ補足検査ニ方リ抽出セル試料中ニ前
検査ノ際良ト決定シタル項目ニ付不良ナルモノアルモ

不問ニ付スルヲ例トス但シ其ノ激着シク多キトヤ又ハ
 特ニ不良ナルモノアルトキハ前検査ノ成績ニ依ルコトナ
 シ更ニ選別セシムル等適宜ノ處置ヲ採ルモノトス

第四條 第一回ニ抽出セル試料ノ検査成績規定ノ條
 件ニ合セサルモ全般ノ景況良好ナルトキハ尚一回之ヲ
 再検査ニ付スルコトヲ得此ノ場合ニ在リテハ抽出員數
 ハ前回検査ノ三倍ト爲スヲ例トス

第五條 素材検査ハ鑄成シタル素材ニ付適宜試片ヲ
 採リ分析試験ニ付シ其ノ成績ニ依リ良否ヲ判定ス
 ルモノトス

第六條 部品検査ハ寸法、形狀、仕上ノ良否、瑕疵及發

備並發射破レ、不發(數回引鐵ヲ引クモ發火セサルモ
 一)數回發(三回以上引鐵ヲ引キ發火スルモノ)、突破ノ有
 無等ヲ檢スルモノトス

第七條 藥莢、彈丸、木彈、紙彈及雷管ノ發射試驗ハ檢
 査提供數ノ〇・一%少クモ一〇〇箇米銃實包ニ在リ
テハ少クモ五〇箇以上ヲ抽出
 シ各別ニ之ヲ行フヲ例トス但シ情況ニ依リ互ニ供試品ヲ
 組合セ行フコトヲ得此ノ場合ニ在リテモ使用銃ハ以下各
 檢査ニ規定セル條件ヲ具備スルヲ要ス

第八條 雷管ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ流用區分ニ從ヒ更ニ
 所要ノ檢査ヲ復行スルモノトス
 一空包用ヲ實包用ニ流用セムトスルトキ

二三八式銃空包用ヲ機關銃空包用ニ流用セムトスル
トキ

三 銃撃射撃實包用ヲ實包用又ハ空包用ニ流用セムト
スルトキ

第九條 裝藥ハ左ノ場合ニ限り裝藥前更ニ火藥製造要
領及検査規程例ニ依リ所要ノ検査ヲ行フモノトス但
シ特ニ要スル場合ノ外假比重、真比重、耐熱及發火點
ノ検査ハ之ヲ行ハス

一 無煙小銃藥、同乙及無煙拳銃藥ニシテ採用検査
後三箇月以上ヲ經過シタルトキ

二 一聯及二聯空包藥ニシテ採用検査後六箇月以上ヲ

経過ニ付ルトキ

第十條 收函及收箱検査ハ函又ハ箱内ニ於ケル員數收容
法、防濕ノ良否及標紙封紙等ノ正否ヲ檢スルモノトス

第二章 三八式銃彈藥(三年式、三八式及高射
機關銃彈藥ヲ含ム)

第一節 實包(被鋼實包ヲ含ム)

第一款 素材検査

第一條 藥莢、彈丸、雷管、神彈子及保彈板

第一章 通則ニ依リ検査スルモノトス

第二款 部品検査

第二條 部品検査ハ第一章通則及以下各條ニ依リ之ヲ行

フモノトス

第三條 藥 莢

検査ハ通常三次ニ區分シテ之ヲ行フモノトス

一 第一次検査ハ附表第一ニ規定セル項目ニ付之ヲ行フ

二 第二次検査ハ昇汞水浸漬試験ヲ行ヒ藥莢破レノ有

無ヲ檢ス之カ爲外觀検査ニ於テ無疵ト認メタルモノ

各口毎ニ三五箇ヲ抽出シ既ニ合格セル彈丸ヲ裝裝

シ雷管室ニ填蟻シタル後〇・ニ%ノ昇汞水(水一立ニ付

昇汞二瓦)ニ五〇立方釐中ニ四時間浸漬ス藥莢破レ

三五箇以上ナルトキハ不合格トス

三 第三次検査ハ發射試験ヲ行ヒ藥莢破レ及藥莢抽

出難等ノ有無ヲ檢ス之カ爲供試藥莢ト既ニ合格セル
 彈丸及雷管トヲ以テ決定裝藥量ニ〇・〇六匹ヲ増加
 シタル實包ヲ調製シ通常三年式機關銃ヲ以テ發射
 ス藥莢破レハ彈室及底接部ニ生シタルモノ、藥室部
 ニ生シタルモノ及底部ニ生シタルモノノ三種ニ區分ス而シ
 テ藥室部ノ横裂、底部破レ及藥莢抽出難ハ總テ不
 合格トシ其ノ他ハ見本ニ依リ合否ヲ判定ス
 本試驗ホニ使用スル銃ノ藥室徑ハ大極寸法ニ近
 キモノタルヲ要ス

第四條 彈丸

検査ハ通常二次ニ區分シテ之ヲ行フモノトス

一 第一次検査ハ附表第一ニ規定セル項目ニ付之ヲ行フ
 二 第二次検査ハ發射試験ヲ行ヒ被甲破レ其ノ他ノ故障ノ有無ヲ檢ス之カ爲供試彈丸ト能ニ合格セル藥莢及雷管トヲ以テ決定裝藥量ニ〇・〇六瓦ヲ増加シタル實包彈丸ニハ塗膜セスヲ調製シ三八式歩兵銃ヲ以テ發射ス被甲破レニ%以上ナルトキハ不合格トス
 本試験ニ使用スル銃ノ隔牆徑ハ六・五五毫米模範ス腔徑ハ六・八五毫米模範ノ全通セサルモノヨリ選定シ爾後隔牆徑六・五七毫米模範ノ全通スルニ至リタルトキハ該銃ノ使用ヲ停止スルモノトス

第五條 雷管管體

検査ハ附表第一ニ規定セル項目ニ付之ヲ行フモノトス

第六條 雷管

検査ハ通常三次ニ區分シテ之ヲ行フモノトス

一第一次検査ハ作業間全数ニ付目視ニ依リ爆粉量ノ

正否ヲ檢ス爆粉量ハ〇・〇一五瓦乃至〇・〇二五瓦ノ範

圍内ニ在ルヲ要ス

二第二次検査ハ附表第一ニ規定セル項目ニ付之ヲ行フ

三第三次検査ハ發射試験ヲ行ヒ不發、數回發、突破及

遲發等ノ有無ヲ檢ス之カ爲供試雷管ト認ニ合格セ

ル藥莖及彈丸トヲ以テ決定裝藥量ニ〇・〇六瓦ヲ増

加シタル實包ヲ調製シ三八式歩兵銃ヲ以テ發射ス不

發、數回發、突破及連發等ノ故障ヲ生シ其ノ原因當
管ノ不良ニ因ルモノト認ムルトキハ不合格トス

第七條 押彈子及保彈板

検査ハ通常二次ニ區分シテ之ヲ行フモノトス

一 第一次検査ハ附表第二ニ規定セル項目ニ付之ヲ行フ

ニ 第二次検査ハ各口毎ニ若干箇ヲ採リ規定ノ實包ヲ裝

シ押彈子ニ在リテハ第一ニ裝填シ又保彈板ニ在リテハ發

射試験ヲ行ヒ故障ノ有無ヲ檢ス

第八條 紙函

現品ノ景況ニ依リ時々之ヲ検査スルモノトス

第三款 竣工検査

其ノ一 組合検査

第九條 検査ハ發射試験ヲ行ヒ藥莢ト火藥トノ組合セノ適否ヲ檢ス之カ爲テ合格セル藥莢ノ口毎ニ裝藥トシテ使用スヘキ火藥ヲ用キ其ノ決定裝藥量ニ〇・〇六匹ヲ増加シタル實包ヲ調製(調製數ハ藥莢ノ口毎ニ其ノ〇・一^{0/10}カダク_セ首)シ通常三年式機關銃ヲ以テ發射ス脱管セルモノアルトキハ不合格トス

其ノ二 完成品検査

第十條 完成品検査ハ通常三次ニ區分シテ之ヲ行フモノトス但シ第二次以後ノ検査ハ合格セル弾子ニ裝シタル實包ニ付之ヲ行フモノトス

一 第一次検査ハ作業間每一箱一箱ハ物ヨリ一〇箇以上ヲ抽出シ裝藥量ノ正否ヲ檢ス裝藥量ハ決定裝藥量ニ對シテ正負各〇・〇三尾ノ範圍内ニ在ルヲ要ス若シ規定範圍外ニ出タルモノアルトキハ更ニ同箱ヨリ一〇箇以上ヲ抽出シ再検査ヲ行フ此ノ場合ニ在リテハ其ノ裝藥量ノ公差外ニ在ルモノ正負ヲ過シテ三%以内ニシテ且此等ノ裝藥量ハ何レモ決定裝藥量ニ對シテ正負各〇・〇六尾ノ範圍内ニ在ルヲ要ス

二 第二次検査ハ附表第一ニ規定セル項目ニ付之ヲ行フ

三 第三次検査ハ抜弾拵力(裝藥彈室ヨリ彈丸ヲ抽出スルニ要スル力)ヲ檢ス之カ爲各口毎ニ二五箇ヲ抽出シ抜

彈抵抗力試驗器ヲ使用シ其ノ抵抗力ヲ檢ス抵抗力ハ一五磅
乃至六〇磅ノ範圍内ニ在ルヲ要ス

第四款 收函及收箱檢査

第十一條 第一章第十條ニ依ルノ外實包ヲ紙函ニ收容ス
ルニ先テ塗蠟、紙函ノ乾燥及機關銃實包ニシテ保彈
板ニ裝スルモノニ在リテハ裝彈ノ良否ヲ檢査スルモノトス

第二節 空包及狹窄射擊實包

第一款 素材檢査

第十二條 藥莢、雷管、伸彈子及保彈板

第一章通則ニ依リ檢査スルモノトス

第二款 部品檢査

第十五條 部品検査ハ第一章通則及以下各條ニ依リ之ヲ行
フモノトス

第十四條 藥 莢

空包用ニ在リテハ通常二次ニ區分シテ検査スルモノトス
一 第一次検査ハ附表第一(打發藥莢ヲ修理再用スル場
合ニ在リテハ附表第三)ニ規定セル項目ニ付之ヲ行フ
二 第二次検査ハ本章第三條ノニニ準シ發射試験ヲ行ヒ
藥莢破レ又藥莢抽出難等ノ有無ヲ檢ス但シ裝藥
量ハ決定裝藥量 ± 0.03 瓦ヲ増加シタルモノヲ以テ發
射ノ爲使用スヘキ銃ハ三八式銃空包ニ在リテハ三八式
歩兵銃又三年式、三八式及高射機關銃空包ニ在リテ

ハ三年式機關銃空包用銃
身ヲ數ストス

秋軍射撃實包用ニ在リテハ附表第一(打敷藥莖ヲ修
理再用スル場合ニ在リテハ附表第三)ニ規定セル項目ニ
付検査スルモノトス

第十五條 紙彈、木彈

検査ハ通常二次ニ區分シ之ヲ行フモノトス

一 第一次検査ハ附表第三ニ規定セル項目ニ付之ヲ行フ
ニ第二次検査ハ發射試驗ヲ行ヒ破砕ノ良否ヲ檢ス之
カ爲供試紙彈(木彈)ヲ用キ規定裝藥量ヨリ〇・〇五
厘ヲ減シタル空包ヲ調製シ紙彈ニ在リテハ三八式歩兵
銃、木彈ニ在リテハ三年式機關銃空包用銃
身ヲ數スヲ以テ銃口

首ニ。米ニ對立セル紙的（茶洋紙若ハ之ニ類似ノ紙ヲ
 貼付セルモノ）ニ向ヒ發射ス破砕良好ニシテ紙的ニ貫
 通孔若ハ破損ヲ生セサルヲ要ス

第十六條 狹窄射擊實包彈丸

附表第四ニ規定セル項目ニ付検査スルモノトス

第十七條 雷管管體、雷管、押彈子、保彈板及紙函

本章第五條乃至第八條ニ準シ検査スルモノトス但シ

雷管ノ検査ハ左ノ區分ニ從ヒ實施ス

一三八式銃空包用雷管

規定裝藥量ニ〇・〇三瓦ヲ増加シタル增量空包ヲ調製

シ三八式歩兵銃ヲ以テ發射ス

二五年度、三八式及高射機關銃空包用雷管

規定裝藥量ニ〇・〇三厘ヲ増加シタル增量空包ヲ調製シ三年
式機關銃ヲ以テ發射ス

三八式銃狹窄射擊實包用雷管

規定裝藥量ニ〇・〇二厘ヲ増加シタル增量狹窄射擊實包ヲ
調製シ三八式歩兵銃ヲ以テ發射ス

第三款 竣工検査

第十八條 空包

検査ハ通常三次ニ區分シテ之ヲ行フモノトス

一第一次検査ハ本章第十條ノ一ニ準シ裝藥量ノ正否ヲ檢ス
但シ抽出秤量スヘキ員數ハ六箇トシ再検査ヲ行フ場合ニ

於テモ其ノ秤量全數規定裝藥量ニ對シテ正負各〇・〇三石
以内ナルヲ要ス

二第三次検査ハ附表第三ニ規定セル項目ニ付テ行フ

三第三次検査ハ紙彈(木彈)保定ノ良否ヲ檢ス之カ爲各口毎

ニ三五箇ヲ抽出シ垂直ニ保テ藥底ニ一層ノ重錘ヲ附シ彈

頭ヲ撞ミテ藥ニ懸垂シタルトキ紙彈(木彈)ノ脫出スルモノナ

キヲ要ス

第十九條 狹窄射擊實包

検査ハ通常四次ニ區分シテ行フモノトス

一第一次検査ハ全數ニ付目視ニ依リ裝藥量ノ正否ヲ檢シ

尚毎並列板一並列板ニハ
一五箇ヲ列フヨリ五箇以上ヲ抽出シ秤量ス藥量

若ハ規定裝藥量ニ對シ正負〇・〇ニ屆ノ範圍内ニ在ルヲ要ス

ニ第三次検査ハ作業間之ニ立會ヒ装飾ノ有無ヲ檢ス

三第四次検査ハ附表第四ニ規定セル項目ニ付之ヲ行フ

四第四次検査ハ彈丸保定ノ良否ヲ檢ス之カ屬各每ニ三五箇
ヲ抽出シ指頭ヲ以テ彈丸ノ抽出ヲ試ムルモ離脱スルコトナク且
塵入若ハ回轉スルモノナキヲ要ス

第四款 收函及收箱検査

第三十條 本章第十一條ニ準シ検査スルモノトス

附表第一(其1-)

三八式銃彈藥實包検査項目表									
品目	検査項目		検査数	実寸	公差		検査用百分片		備 考
					正	負	大端外	小端外	
薬	長		1	51.0	0	0.5	0.2	0.2	
	起 縁	厚	0/0	1.5	0	0.2	0.2	0.2	
		径	(1)	12.10	0.12	0.20	0.2	0.2	
	薬莖面より發火金頭に至る部		1	1.2	0.3	0.1	0.2	0.2	
	雷管室径		7	5.00	0.03	0.02	0.2	0.2	
	溝	底部径	100	10.7	0	0.4	0.2	0.2	
		幅	箇	1.00	0.50	0.25	0.2	0.2	
	彈室内径		以	6.60	0.01	0.04	0.5	0.5	
薬	薬底凸起高		上	0.15	0.15	0	1.0	1.0	検査数90.1% (742/1000) = 5.2mmスト7mm

1132

品目	検査項目		検査数	実寸				備	要
				公	正	差	許容		
薬	全形		1	全形検査具=適合スル要ス					
	汚	外部=在 λ 1	0/0						
		内部=在 λ 1	(少)						
		露管室=在 λ 1	1						
	噴火孔		2	合否ハ見本品ニ依リ決定ス					
	英口開不良		100						
	英口端斜		(箇)						
	地金疵	外部=在 λ 1	以上						
内部=在 λ 1									
英	外部	側面=在 λ 1							

1133

附表第一(其二)

藥	無	外部	底面=在L/E)	/	合否、見本品=依り決定ス					
		内部	側面=在L/E)							
丸	彈		藥室	短	%	少	7	e	100	箇)
		突起	斜面	片						
丸	重	長		サ	32.5	0.3	0.7	0.2	0.5	
		圓		徑	6.65	0.01	0.03	0.1	0.1	
		圓	境	長	サ	13.5	/	1.5	/	0.2
				曲	リ	0.8				
		底部折返		内徑	4.00	0.75	1.10	0.5	0.5	
重		量	9.0	0.1	0.2	1.0	1.0	検査値9.1% (97e/100箇)= 420019粒		

1134

品目	検査項目	検査数	定寸	公差		検査方法	備考	
				正	負			
彈丸	裂	1					合否ハ見本品ニ依リ決定ス	
	地金疵	0%						
	欠	欠	少					
		損	少					
	軋	1	±					
	凹	3	100					
	頭輪		箇					
	頭面不正		以					
	底部不正		上					
丸	蛋形部不正							

1135

附表第一(共三)

彈丸	彈	類	/	合否ハ見本品ニ依リ決定ス					
	汚	レ							
雷	高	サ	0/0	2,90	0,05	0,25	0,5	0,5	
	外	徑	(少)	5,05	0,05	0	0,2	0,2	
	底	肉厚	7	0,60	0,08	0,04	0,5	0,5	
管	疵		ニ	合否ハ見本品ニ依リ決定ス					
	不正形		100						
	汚	レ	内部ニ在ルニ						管)
			外部ニ在ルニ						
體	偏	肉	以上						
	缺	條							

1136

品目	検査項目	検査数	実寸	公差					備考	要
				正	負	内	外	個		
雷管	反起	1								
	餘藥附着 / ㄷ /	0%								合否ハ見本品ニ依リ決定ス
	錫箔	被覆不良 / ㄷ /	(少)							
		被覆不良 / ㄷ /	?							
	汚	✓	ㄷ							
實包	長	+	100	76,5	0	1,0	0,5	0,5		
	藥底面和雷管ニ至リ高	+	(筒)	0,1	0,3	0,1	0,2	0		
	全形(彈頭部ヲ除ク)		以	彈丸部ヲ除クニ至リ全形ニ至リテ 其ノ合否ハ決定ス						
	製作	疵	上							
包	汚	✓							合否ハ見本品ニ依リ決定ス	

1137

附録第一(其四)

實	英口嵌込不良	1/10 (歩合100%) 以上	合否ハ見本品ニ依リ決定ス
	雷管嵌込不良		
	起線欠		
	包		
備	1 公差欄中斜線ヲ施セルモノハ検査セサルヲ例トス 2 見本品ハ比率ニ依ラス合否ヲ決スルモノト比率ニ依リ合否ヲ決スルモノトニテ被シ		
考	之カ爲製造所ハ豫メ之ヲ選擇シ技術本部支部ト協議シテ決定スルモノトス		

附表第二

三八式銃彈藥押彈子保彈板検査項目表										
品目	検査項目	検査数	欠寸	公差				備	要	
				正	負	大	小			
押 彈 子	内幅	0/1	10.7	0.4	0	1.0	1.0	合否ハ見本品ニ依リ決定ス		
	高	0/0	4.5	0.5	0.5	1.0	1.0			
	長	+	60.0	1.0	2.0	1.0	1.0			
	製作不正	(少クモ	100箇) 以上							
	發條疵									
	體									
	汚レ發條錆									
保 彈 板	幅	1/0	12.0	0	/	2.0	/			
	高	+/少ク	7.0	0	/	2.0	/			

1139

品名	検査項目		検査数	公差					備考
				正	負	公差	公差	公差	
係 彈 板	支	耳	1 0/0 (少 く も 100 箇) 以 上	12.0	0	/	2.0	/	
	起係受高(板高共)			2.0	0.3	0.3	2.0	3.0	
	全形			全形検査具=適合スルヲ要ス					
	底様			適宜底様ノ原形=適合スルヲ要ス					
	疵			合否ハ見本品=依リ決定ス					
考	活								
備	<p>1 公差欄中斜線ヲ施セルモノハ検査セザルノ例トス</p> <p>2 見本品ハ比率=依リ合否ヲ決スルモノト比率=依リ合否ヲ決スルモノトニテ被リ文ヲ為</p> <p>製造所ハ豫メ之ヲ選擇シ技術本部支部ト協議シテ決定スルモノトス</p>								

1140

附表第三(其一)

三年式三八式及高射機頭式航空検査項目表

品目	検査項目	検査数	尺寸	公差		採用百分比		摘要								
				正	負	大径外	小径外									
薬	起爆厚サ	1	1.50	0	0.22	0.2	0.2	1. 多数薬莖ヲ修理再消スル 場合ノ検査項目ニシテ本表 ニ記載セザル部分ハ検査 第一ニ依ル 但シ薬莖凸部高ハ検査 セザルニトス 2. 外觀検査ニ於テ圓筒部 下部(溝列約四捲)ニ噴 射ホドクニテテ 3. 全形ハ下部機銃ニ依ル トス								
	薬莖面ノ爆火全環ニ至ル高サ	100	1.2	0.4	0.1	0.2	0.2									
	雷管室内径	少クモ	5.00	0.04	0.02	0.2	0.2									
共	彈室内径	少クモ	6.60	0.02	0.04	0.5	0.5	<table border="1"> <tr> <td>全長</td> <td>12.25</td> </tr> <tr> <td>筒長</td> <td>11.51</td> </tr> <tr> <td>折長</td> <td>10.69</td> </tr> <tr> <td>折長</td> <td>7.44</td> </tr> </table>	全長	12.25	筒長	11.51	折長	10.69	折長	7.44
全長	12.25															
筒長	11.51															
折長	10.69															
折長	7.44															
銃	長サ	100	30.0	1.1	1.1	1.0	1.0									
	圓筒部径	箇	6.65	0.12	0.03	1.0	1.0									
	破折	以上	合否ハ見本品ヲ以テ決定ス													
彈	乾燥不良		不合格トス													

品目	検査項目	検査数	実数	公差				摘要
				正	負	採用割合	不採用割合	
木	長さ	1	33.0	0.6	2.0	1.0	0.5	
	圓筒部径	10	6.70	0.10	0.07	1.0	0.5	
	汚	(少々)	合否ハ見本品ニ依リ決定ス					
	疵							
	乾燥不良							
彈簧	節若ハ相アルニ	100	不合格トス					
筒	支板装入不良	(筒)	合否ハ見本品ニ依リ決定ス					三八式銃型包ノニ
空	長さ	以上	76.0	0.5 (0)	1.5 (1.0)	1.0	2.0	()ノ内ノレニハ機 銃型包ニ通用ス
	薬莖底面ヨリ雷管ニ至ルサ	以上	0.1	0.3	0.1	0.2	0	
包	全形		全形検査具ニ適合スルヲ要ス					機關銃型包ノニ

1142

附表第二(英1二)

空	汚	✓	1 0/0 (少くも 100箇) 以上	合否ハ見本品ニ依リ決ス	
	疵				
	雷管周圍「ハルニ」塗抹不良				
	雷管嵌込不良				
包	紙質(木質)剥離等				
備	1 見本品ハ比率ニ依ラス合否ヲ決スルモト比率ニ依リ合否ヲ決スルモトノニテ設ケ 之カ爲製造所ハ擇メ之ヲ選擇ニ技術本部文部ト協議上被定スルモトス				
考	2 本表ニ規定セサル部品ニ付テハ製造所ニ於テ規定ニ實施スルモトス				

附表第四

三八式銃彈藥狹窄射擊實包検査項目表

品目	検査項目	検査数	公差	公差		採用百分比		摘要	
				正	負	大外	小外		
彈丸	長さ	1	7.50	0.35	0.50	0.5	2.0	検査数90,1% (少) 72/100 (多) = 止ムルコトヲ得	
	徑	10	6.65	0.02	0.01	0.2	1.0		
	重量	少	2.30	0.15	0.15	0.5	1.0		
	汚	少	合否ハ見本品ニ依リ決定ス						
	裂	少							
	地金疵	100							
	額	皆							
	頭面不正	以上							
底部不正	以上								

1144

品目	検査項目	検査数	定率	公差					備考	要
				正	負	公差外	公差外	公差外		
彈丸 質 包 備 考	底部折返シ不良	1	合否ハ見本品ニ依リ決定ス							
	長	%	53.5	1.0	1.0	0.5	0.5			
	薬底面ノ雷管ニ至ルサ	少ク	0.1	0.3	0.1	0.2	0			
	汚	≒	合否ハ見本品ニ依リ決定ス							
	製作疵	100								
	雷激管嵌込不良	箇								
雷管空回ニシテニ塗抹	以上									
	見本品ハ比率ニ依ラス合否ヲ決スルモト比率ニ依リ合否ヲ決スルモトノニテ被ク之ヲ爲 製造所ハ豫メ之ヲ選擇シ技術本部支部ト協議シ決定スルモトス									

1145

第三章 毒銃毒藥

第一節 素枝検査

第一條 藥莢、彈丸、雷管

第一章通則ニ依リ検査スルモノトス

第二節 部品検査

第二條 部品検査ハ第一章通則及以下各條ニ依リ之ヲ行フモ

ノトス

第三條 藥莢

検査ハ通常三次ニ區分シテ之ヲ行フモノトス但シ二十六年式用

ニ在リテハ第三次検査ハ行ハサルモノトス

一第一次検査ハ附表ニ規定セル項目ニ付之ヲ行フ但シ附表區

令ハ二十六年式ニ在リテハ第五、十四年式ニ在リテハ第六トス

(本章中附表區分以下同シ)

ニ第二次検査ハ第三章第五條ノニニ依リ昇永水浸漬試験ヲ

行ヒ藥莢破レノ有無ヲ檢ス

ニ第三次検査ハ第三章第三條ノ三ニ準シ發射試験ヲ行ヒ藥

莢破レ及藥莢抽出難等ノ有無ヲ檢ス但シ發射ニハ各其

ノ拳銃ヲ使用シテ増裝藥量ハ〇・〇五トス

第四條 彈丸及雷管管體

附表ニ規定セル項目ニ付検査スルモノトス

第五條 雷管

検査ハ通常三次ニ區分シテ之ヲ行フモノトス

一第一次検査ハ第二章第六條ノ一ニ準シ爆粉量ノ正否ヲ檢ス但シ爆粉量ハ二十六年式ニ在リテハ〇・〇〇七瓦乃至〇・〇〇八五瓦、十四年式ニ在リテハ〇・〇〇七瓦乃至〇・〇〇一二瓦ノ範圍内ニ在ルヲ要ス

二第二次検査ハ附表ニ規定セル項目ニ付之ヲ行フ

三第三次検査ハ第二章第六條ノ三ニ準シ發射試験ヲ行ヒ不發、數回發、突破及連發等ノ有無ヲ檢ス但シ發射ニハ各英ノ拳銃ヲ使用シ又増裝藥量ハ〇・〇三瓦トス

第六條 紙 画

第二章第八條ニ依リ検査スルモノトス

第三節 竣工検査

第七條 検査ハ通常三次ニ區分シテ之ヲ行フモノトス

一 第一次検査ハ作業間二十六年式ニ在リテハ毎並列板一並列板

ニ八一五。ヨリ五箇以上ヲ、十四年式ニ在リテハ毎一箱一箱ハ六箇ヨリ

六箇以上ヲ抽出シ其ノ裝藥量ノ正否ヲ檢ス裝藥ハ規(決)定裝藥

量ニ對シ正負各〇〇三尾ノ範圍内ニ在ルヲ要ス若規範圍

外ニ出タルモノアルトキハ十四年式ニ在リテハ更ニ同箱ヨリ一〇箇

以上ヲ抽出シ再検査ヲ行フ(二十六年式ニハ再検査ヲ行フコ

トナシ)此ノ場合ニ在リテハ其ノ秤量全數決定裝藥量ニ對

シ正負各〇〇三尾ノ範圍内ニ在ルヲ要ス

尚二十六年式ニ在リテハ作業間之ニ立會ヒ紙塞、蠟塞ノ押

入ノ良否ヲ檢ス

二 第二次検査ハ附表ニ規定セル項目ニ付之ヲ行フ

三 第三次検査ハ左ノ区分ニ依リ彈丸保定ノ良否ヲ檢ス

(1) 二十六年式ニ在リテハ第二章第十九條ノ四ニ依ル

(2) 十四年式ニ在リテハ第二章第十條ノ三ニ準ス但シ抗力ハ
五層以上ナルヲ要ス

第四節 收函及收箱検査

第八條 第二章第十一條ニ準シ検査スルモノトス

附表第五(其1-)

二十六年式拳銃實包検査項目表

品目	検査項目	検査数	定寸	公差		採用百分比		摘要	
				正	負	大極外	小極外		
薬	長	1	22.0	0.2	0.3	0.2	0.2		
	起線	厚	0/0	1.00	0.10	0.24	0.3		0.3
		徑	1/1	11.20	-0.02	0.24	0.2		0.2
	薬莖底面3ヶ所發火金頭3ヶ所		7	1.1	0.2	0.1	0.2		0.2
	雷管室徑		±	4.50	0.01	0.05	0.2		0.2
	彈室內徑		100	9.00	0	0.13	0.5		0.5
	全形		箇	全形検査具=適合スルヲ要ス					
茨	汚	外部=右IVC/	以上	合否ハ見本品ニ依リ決定ス					
		内部=右IVC/							

1151

1152

品目	検査項目	検査結果	公差					備	要					
			正	負	大	小	外							
薬	方	ノ雷管室=本20/	/	0/0	(少	ト	±	100	箱)	以上	公差、見本品=條リ米突ス			
	噴	火										孔		
	雷管	室										口	削	不良
	地	全										疵	外部=本10/	
													内部=本10/	
	製	外										部	側面=本10/	
底面=本10/														
作			内	部	側面=本10/									
					底面=本10/									
共	計		16.00	0.20	0.75	0.2	0.5							

検査第五(其ノ二)

丸	圓 堵 秤 在	1 0/0 (少 ク モ 100 箇) 以 上	9.00	0.06	0	0.2	0.2	検査数70.1% (少クモ100 箇)以上ニ至ルヲ7特
	重 量 尺		9.8	0.1	0.3	1.0	1.0	
	汚		合否ハ見本品ニ依リ決定ス					
雷 管 管 體	餘 肉 附 着	100 箇) 以 上	合否ハ見本品ニ依リ決定ス					
	高 サ		2.30	0.04	0.16	0.5	0.5	
	外 徑		4.50	0.06	0.02	0.2	0.2	
	底 肉 厚		0.40	0.03	0.10	0.5	0.5	
	疵		合否ハ見本品ニ依リ決定ス					
	不 正 形		合否ハ見本品ニ依リ決定ス					
汚	レ 内部ニ在ルモ	合否ハ見本品ニ依リ決定ス						

1153

品目	検査項目		検査数	欠数	公 差					備 考
					正	負	許容	再検査	不適合	
雷 管 管 體	汚	外部=在(%)	1	%	1	0	0.6	0.2	0.3	合格、見本品=版9決定ス
	傷	肉								
	鉄	條								
	反	起								
雷 管	餘薬附着 / 毛 /		100	箇	以上	30.5	0	0.6	0.2	0.3
	錫	被覆不良 / 毛 /								
		被覆厚様 / 毛 /								
汚		✓								
實 包	長	サ	1	%	1	0	0.6	0.2	0.3	
	薬底面ヨリ雷管=至ニ高サ									

1154

附表第五(其ノ三)

實 包 備 考	全形	1 % (少 クモ 100 箇) 以上	全形検査具一通合スルヲ要ス
	製作疵		合否ハ見本品ニ依リ決定ス
	汚		
	雷管嵌込不良		
	雷管装填「スル」塗抹不致		
備考	見本品ハ比率ニ依リ合否ヲ決スルモトノ比率ニ依リ合否ヲ決スルモノトシテテ被ク之カ爲製 造所ハ豫メ之ヲ選擇シ技術本部支那ト協機ノ上決定スルモノトス		

附表第六(其1-)

十四年式拳銃實包検査項目表

品目	検査項目	検査数	定数	公差		採用百分比		備	要	
				正	負	大径外	小径外			
薬	長	1	21.6	0	0.5	0.2	0.2			
	起 線	厚	10	1.0	0	0.1	0.5	0.5		
		徑	(少)	10,56	0	0.13	0.2	0.2		
	薬底面に引發火頭=至高		7	0.85	0.10	0.10	0.5	0.3		
	雷 管 室 徑		100	4.54	0	0.05	0.2	0.2		
	彈 室 内 徑		(實)	8.11	0	0.04	2.0	2.0		
	溝	底部徑	以上	9.1	0.2	0	1.0	1.0		
		幅	以上	1.4	0.2	0.2	1.0	0		
共	全 形		全形検査具=適合スルヲ要ス							

1156

品目	検査項目	検査数	欠数	公差		検査員	検査日	検査場所	検査結果	備考	要
				正	負						
薬	英口削不良	1	0/0	(少)	7	±	100	箇	以上	合否ハ見本品ニ依リ決定ス	
	噴火										
	汚										
		内部=在200/									
		露管室=在200/									
	露管室口削不良	100	箇	以上							
地金疵	外部=在200/										
	内部=在200/										
製作疵	外部	側面=在200/	底面=在200/								

1157

附表第六(其1二)

藥 莢	製作 疵	内部	側面=本 \times 0.1	/	合否ハ見本品=依リ決定ス					
			底面=本 \times 0.1							
彈	長	+	%	15.0	0.5	0.5	0.2	0.5		
										圓 溝部
	長	+	7	6.0	突 \times 以上ナルヲ要ス					
		重	量 \times	%	6.6	0.1	0.1	1.0		1.0
	疵			100	合否ハ見本品=依リ決定ス					
	丸 雷管管體	汚	✓	(
高		+	以	2.30	0.05	0.20	0.5	0.5		
外		徑	上	4.60	0.01	0.05	0.2	0.2		
底		内 厚		0.4	0	0.1	0.5	0.5		

1158

1159

品目	検査項目	検査数	実数	公差			備	要
				正	差	採用割合		
雷 管 管 管 體 雷 管	疵	1 % (少 ク ニ 100 管) 以上					合否ハ見本品ニ依リ決定ス	
	不正形							
	汚							内部ニ在リテ
								外部ニ在リテ
	備肉							
	缺線							
反起								
雷 管	餘藥附着	1ニ1						
	錫箱	被覆不致						1ニ1
		被覆重複	1ニ1					

備考第六(其ノ三)

實 包 備 考	汚	✓	/ 100 % (少クモ 100箇) 以上	合否ハ見本品ニ依リ決定ス				
	長	サ		32.0	0	0.6	0.2	0.3
	薬莖底面ヨリ雷管ニ至ル高サ	サ		0.1	0.3	0.1	0.2	0
	全形	形		全形検査具ニ適合スルヲ要ス				
	製作	疵		合否ハ見本品ニ依リ決定ス				
	汚	✓						
	雷管嵌込不良							
雷管室周囲「バルニ」塗抹不良								
見本品ハ比率ニ依テ合否ヲ決スルモト比率ニ依リ合否ヲ決スルモトノ二ヲ被ク之カ爲 製造所ハ豫メ之ヲ選擇シ技術本部支部ト協議シ決定スルモトス								

1160

火具類検査法中改訂

一 目次中次ノ通改正ス

(1) 附表第八 八七式短延期信管検査項目表ノ次ニ左ノ
六行ヲ追加ス

第五節 曳火手榴彈十年式信管

第一款 部品検査

第二款 竣工検査

其一 組立後ノ検査

其二 収納後ノ検査

附表第九 曳火手榴彈十年式信管検査項目表

(2) 目次ノ末尾ニ左ノ通追加ス

附表第十四 十四年式十糧加農十四年式發煙

彈黃燐筒検査項目表

附表第十五 十五糧福彈砲十三年式發煙彈黃

燐筒検査項目表

二 第二章第一節第五^條ニ中「〇・一%少クモ五箇トアルヲ〇・

一%少クモ一〇箇ト改正ス

三 同節第十四條中次ノ通改正ス

(1) 一ノハ中「燃焼秒時ヲ測定シ平均燃焼秒時ヲ求ムトアルヲ燃焼秒時ヲ測定シ之ヨリ平均燃焼秒時及平均餘

遊ヲ求ムト改ム

(2) 表ノ備考一ノ第一行ヲ左ノ通改ム

平均燃燒秒時ハ實測平均秒時ニ對シ左記ニ依リ氣壓
及氣溫ニ應スル修正ヲ爲シタルモノトス

(3) 同備考一ノ(1)氣壓ノ修正量及(2)氣溫ノ修正量トアル

ヲ(1)氣壓ノ修正及(2)氣溫ノ修正ト夫々改ム

四 第二章第四節ノ次ニ別冊ノ通第五節ヲ追加ス

五 第三章第五節ノ第二十六條一ノ(1)中鑄塊一〇〇〇改
トアルヲ鑄塊一〇〇〇改ト改ム

六 同章第八節ノ附表第十一乃至第十三ヲ別紙ノ通改メ且
附表第十四及第十五ヲ別紙ノ通追加ス

第五節 兎火手榴彈十年式信管

第一款 部品検査

第五十六條 部品検査ハ第一章通則及以下各條ニ依ルノ
外附表第九ニ規定セル項目ニ付之ヲ行フモノトス

第五十七條 雷管

検査ハ通常三次ニ區分シテ之ヲ行フモノトス

一 第一次検査ハ作業閉全數ニ付目視ニ依リ爆粉量ノ

正否ヲ檢ス爆粉量ハ〇・〇〇七〇瓦ヨリ〇・〇〇八五瓦

ニ至ル範圍内ニ在レテ要ス

二 第二次検査ハ第一章通則ニ依ルノ外要スレハ錫板

挿入ノ適否餘藥附着ノ有無等ヲ檢ス

三 第三次検査ハ發火機能ヲ檢スルモノニシテ當分、

内左ノ要領ニ依ル

(1) 試験スヘキ員數ハ検査提供數ノ〇・一% (百分) 以上トス

(ロ) 供試雷管ヲ装着シテ規定装藥ノ拳銃實包ヲ銅製シニテ六年式拳銃ヲ以テ發射シ不發及數回發等ノ有無ヲ檢ス此等ノ故障ヲ生シ其ノ原因雷管ニ不良ニ因ルト認めルモノハ不合格トス

第五十八條 雷管室

第三十七條ニ依リ検査スルモノトス

第五十九條 拳銃體發條

第九條ニ依リ検査スルモノトス

第六十條 火道

検査ハ通常三次ニ区分シテ之ヲ行フモノトス

一 第一次検査ハ第一章通則ニ依ル

二 第二次検査ハ火道築填實ノ景況及積炭後ノ外徑等ヲ檢ス

三 第三次検査ハ静止間ニ於テ燃焼試験ヲ行フモノニシテ其ノ要領左ノ如シ

(A) 試験スヘキ員數ハ検査提供數一〇〇〇箇以内ハ一〇箇トシ其ノ以上二〇〇箇若ハ其ノ未滿ヲ加フル毎ニ一箇ヲ増加ス

(四) 供試火道ヲ組立タル信管（管外體ヲ落鐘機ニ致シ
發火セシメ百分ノ一秒ヲ測定シ得ヘキ測秒器ヲ用ノ燃焼秒時ヲ測定シ之ヨリ平均燃焼秒時及平均燃
 焼ヲ求ム

但シ平均燃焼秒時ハ實測平均秒時ニ對シ氣壓ニ應
 スル修正ヲ爲シタルモノトス其ノ修正ハ氣壓七六
 〇純ヲ標準トシ實測氣壓（二回ノ試驗ニ方リ始期ト
 終期トノ二回ニ氣壓ヲ測定シ其ノ平均値ヲ以テ實
 測氣壓ト爲ス）トノ差一純ノ増（減）ニ付實測平均燃焼
 秒時數ニ十分ノ一ヲ乘シタル値ヲ増（減）ス

(五) 採用範圍ハ平均燃焼秒時七秒乃至八秒平均燃焼

○秒ニ〇以下トス

(三) 不規秒時ノモノハ第十四條備考ニ準シ除算スル
コトヲ得

第六十一條 組立検査

組立作業ニ順應シ逐次組立及各部嵌合ノ良否殊ニ螺釘
螺入ノ位置、安全栓挿入ノ適否ヲ檢ス

第二款 竣工検査

其ノ一 組立後ノ検査

第六十二條 検査ハ通常ニ次ニ區分シテ之ヲ行フモノト
ス

一 第一次検査ハ検査提供數ノ三〇(%)以上ヲ抽出分

解シテ各部品組立ノ状態鉄品ノ有無並重要部品ノ寸
法形状抗力仕上ノ良否及中間検査ノ刻印ノ有無等ヲ

檢ス

二 第二次検査ハ目視ニ依リ組立ノ良否、安全栓挿入ノ
適否及標識ノ正否等ヲ檢ス

其ノ二 収箱後ノ検査

第六十三條 第一章通則ニ依リ検査スルモノトス

附表第九 其一

兎火手榴彈十年式信管検査項目表

品目	検査項目		検査数	定寸	公差		備要
					正	差	
信	高	寸	全	28.0	0.5	0.2	
	外	徑		14.0	0.2	0.1	
管	擊針室	徑	數	11.0	0.2	0.1	
		深		寸	12.0	0.2	
	雷管室	徑		10.0	0.1	0	
		深		寸	5.0	0.1	
	傳火	孔徑		6.0	0.2	0.2	
	噴火	孔徑		4.0	0.1	0.1	
體	煙室	徑	8.0	0.1	0		

1170

品目	検査項目		検査数	実寸	公差		摘要
					上	下	
信 管 體	煙	深	全	5.0	0.2	0.1	
	彈	徑		14.0	0	0.1	
	螺	高		5.0	0.2	0.1	
	安全栓孔徑及位置		數	定寸検査具ヲ以テ檢ス			
	被帽駐溝深及形状						
火	高	寸	全	35.0	0.2	0.1	
	外	徑		8.90	0	0.15	
	分	徑		8.00	0	0.15	
	部	高		5.0	0	0.2	
	内	徑		4.0	0.1	0.1	

1171

附表第九其二

道	管藥室	徑		數	7.5	0.2	0
		深	寸		3.0	0.1	0.1
擊	高	寸		全	10.5	0.2	0.2
	外	徑			10.8	0.1	0.1
針	錫室	徑		數	6.0	0.3	0
		深	寸		4.5	0.2	0.1
體	刃缺部	幅		數	6.5	0.1	0.1
		高	寸		3.0	0.1	0.1
體	擊螺入針部	徑		數	4.0	0.2	0
		高	寸		6.0	0.2	0.1
擊針	外	徑		數	2.0	0.1	0.1

1172

品目	検査項目		検査数	定寸地	公差		摘要	
					正	負		
拳針	高	寸	全	4.0	0.2	0		
	部分	徑		4.0	0	0.1		
	部分	高 寸		6.0	0.1	0.1		
	針	螺絲溝深寸及幅		數	定寸検査具ヲ以テ檢ス			
		錐部 徑			6.0	-0.1		0.3
被帽	高	寸	20%以上	14.0	0.5	0		
	口元内徑			12.8	0	0.3		
	安全栓孔徑及位置			定寸検査具ヲ以テ檢ス				
安全栓	徑		同上	1.3	0.2	0.1		
拳針	高	寸	同	10.0	3.0	0.2		

1173

1

附表第九其1三

體發條	外 徑	上	5.0 10.0	0.2	0.2
	高4mm迄厚端部一帯の許容差	公差	0.60	0.03	0.03
螺釘製造	徑	30%以上	3.0	0.5	0.2
	尖端部肉厚		定寸検査具で行検入		
雷管室	高 寸	全	4.8	0.1	0.1
	外 徑		9.90	0.10	0.15
	雷管室底面一帯の許容差	数	1.1	0.2	0.1
	雷管室 徑		4.40	0.11	+0.05
雷管全體	高 寸	20%以上	2.30	0.05	0.05
	外 徑		4.40	0.13	+0.07
	底 肉厚		0.15	0.03	0.02

1174

品目	検査項目	検査数	定寸地	公差		備考
				公差	公差	
管蓋	管蓋挿入位置	蓋	定寸検査具ヲ以テ檢ス			
備考	<p>1 錫板ノ厚サハ時々測定スルモノトス</p> <p>2 定寸検査具ヲ以テ檢スルモノハ同検査具適合スル程度トシ微小ノ遊隙ナルモ可シ</p> <p>3 本表ニ規定セザル部品ニ付テハ製造所ニ於テ規定シ實施スルモノトス</p>					

附表第一

十年式機銃筒十一年式發煙彈黃磷筒檢查項目表						
品目	檢查項目	檢數	定寸	公差		摘要
				正	差	
黃 磷 筒 體	高	全	74.0	0.2	0.2	
	外徑		47.0	0.2	0.2	
	中心管内徑		9.0	0.3	0	
	頭部及底部形狀	數	定寸検査具ヲ以テ檢ス			
	燻貫孔及同蓋塗					
	蓋板及底板止位置					
噴孔	徑及噴氣孔徑					
備	1. 定寸検査具ヲ以テ檢スルニハ同検査具適合スルヲ度トシテ微少遊隙アルニ差支テシ					

1176

考 名表-規定と此部品-付テハ製造所-於テ規定ヲ實施スルベシトス

附表第十二

十一年式及十一年式發煙彈黃磷筒検査項目表						
品目	検査項目	検査	定寸	公差		摘要
				全	差	
黄磷筒體	高	全	120.0	0.2	0.8	
	外徑		55.0	0.2	0.2	
	底部形状	數	定寸検査ヲ以テ檢ス			
	填塞孔及同蓋室					
	蓋板及底板止メ位置					
蓋孔蓋	徑及噴氣孔徑					
備考	<p>1 定寸検査具ヲ以テ検査スルモハ同検査具適合スラ度トシテ微少遊隙アルモ差支ナシ</p> <p>2 本表ニ規定セラル部品ニ付テハ製造所ニ於テ規定ニ實施スルモノトス</p>					

1178

附表第十三

三八式野戰子午式發煙彈黃磷筒檢查項目表						
品目	檢查項目	檢數	定寸	公差		摘要
				全	差	
黃 磷 筒 體	高	全	147.7	0.2	0.8	
	上部外徑		58.5	0	0.5	
	下部外徑		54.5	0	0.5	
	中心管内徑		13.5	0.1	0.2	
	填塞孔及同蓋室		定寸検査具ヲ以テ檢ス			
	蓋板及底板止位置					
蓋室	徑及噴氣孔徑	數				
備	1 定寸検査具ヲ以テ検査スルモノハ同検査具ノ適合スルヲ度ニ微少ノ遊隙アルモ差支ナシ					

1179

考 2 本表規定の部品材ハ製造所ニ於テ規定ニ實施スルモトス

附表第十四

十四年式手榴彈加裝十四年式發煙彈黃磷筒檢查項目表						
品目	檢查項目	檢查數	尺寸	公差		摘要
				正	負	
黃磷筒體	高	全	261.0	0.2	1.0	
	上部外徑		77.5	0	1.2	
	下部外徑		72.5	0	1.2	
	中心管内徑		13.5	0.1	0.2	
	填塞孔及同蓋蓋		定于検査具ヲ以テ檢ス			
	蓋板及底板止位置					
彈孔蓋	徑及噴氣孔徑	數				
備	一定検査具ヲ以テ検査スルモハ同検査具ノ適合スルヲ度トシテ微少ノ遊隙ルモ差支ナシ					

1181

考 名 本 表 = 規 定 七 七 部 品 一 付 十 八 製 造 所 = 於 于 規 定 以 實 施 所 毛 卜 不

附表第五

十五類榴彈砲十三年式發煙彈黃磷筒檢查項目表						
品目	檢查項目	檢查數	定寸	公差		摘要
				全	差	
黃磷筒體	高	全	292.0	0.2	1.3	
	外徑		110.0	0	1.5	
	噴氣孔及同蓋室	數	定寸検査具ヲ以テ檢ス			
	蓋板及底板上ノ位置					
噴口蓋	徑及噴氣孔徑					
備考	1 定寸検査具ヲ以テ検査スルニハ同検査具適合スルヲ度トシテ微少ノ遊隙 及ニ差支トシ 2 本表ニ規定セラルル部品ニ付テハ製造所ニ於テ規定ニ實施スルモノトス					

1183